

平成27年度 燕市・西蒲原郡学校保健部 活動報告

部長 上之山 達朗

1 研究主題

生きる力を育む健康教育

2 研究の概要

- (1) 第1回 指導案検討会 期日：8月21日(金)
会場：吉田産業会館

- ① 単元名 健康的な生活を送るために
～病気の予防～

- ② 協議及び指導の内容

ア 課題提示 生活習慣病を身近な問題として捉えさせるために、食生活を題材として取りあげる。そして、現在の自分の生活と結びつけて考えられるよう課題提示を工夫する。

イ グループ活動 話し合いがより深まるために、グループ別の生活課題(栄養・運動・睡眠・休養)よりは、生活課題を絞った方がよい。

- (2) 第2回 授業研究会 期日：10月27日(火) 会場：吉田北小学校

単元名 生活行動が関わって起こる病気の予防

授業者 小林 涼子 養護教諭 小南 文恵 教諭

指導者 県立教育センター 森 和香子 指導主事

- ① 授業の概要

生活行動が関わって起こる生活習慣病について理解させ、予防に向けた生活の仕方を長野県と新潟県の実態を比較したグラフを通してグループワークで考えさせた。そして、生活習慣病予防のために、どんなことに気を付けて生活を続けていく必要があるかについて、自分の未来年表に記録させる学習を展開した。

- ② 協議会

ア 長野県と新潟県の実態を比較したグラフが分かりやすく、グループワークが順調に進んだ。また、グラフを黒板に掲示し、赤字で適正量を記入したことも読み取りを深めるのに効果的であった。

イ 視覚に訴えた血管モデルによるドロドロ血や血管硬化の説明は、児童の理解を促進する上で有効であった。

- ③ ご指導

ア 興味をもつ教材の工夫→修学旅行先の長野県との比較、燕市のデータの利用、8時間目の「地域にある健康を守るための仕組み」等、よく工夫された教材であった。

イ 夢と希望をもたせる保健学習→健康に対するマイナスイメージは、夢と希望につながらない。「自分の役に立つ、人間ってすごい、なるほど」につながる学習を目指すことが大切である。

3 成果と課題

未来年表を用い、今の生活が将来の生活につながっていくことを考えさせることは、現在の生活を振り返り、より豊かな未来へと向かう「生きる力」になることを、共通理解することができ、大変有意義な授業研究であった。各学校での実践につなげていきたい。

